

必要経費の目安

ご旅行代金の他に別途下記の料金がかかります。
※詳細は、渡航手続き書類にてご案内申し上げます。

- ◆空港施設使用料 / 国際観光税 / 海外空港税・燃油特別付加運賃 (30,000円) 上記は2026年5月現在の金額です。航空券の発券時点でレートは変動いたします。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
- ◆渡航手続諸費用 (パスポートを新規取得、更新の方): パスポート新規申請代 (5年用 11,000円 / 10年用 16,000円 / 各自治体の戸籍謄本・住民票発行手数料や写真代別途要) 中国入国にはパスポートの残存有効期間が入国時に6ヶ月以上が必要です。(12週間以上の有効期間が望ましい)
- ◆お一人部屋追加料金: 39,000円 (ホテルは基本2名一室です)
- ※お一人参加で相部屋をご希望の場合、最終的な部屋割りによってはやむを得ずお一人部屋追加料金を頂戴することがございます。予めご了承くださいませ。
- ◆任意の海外旅行保険
- ◆超過手荷物料金: 規定の重量、大きさ、個数を超える分についての手荷物運搬料金
- ◆個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用 (食事代、飲み物代・自由行動時の諸費用等)
- ◆ご自宅～発着空港までの交通費



ご旅行条件

旅行条件の詳細は「旅行業約款」(募集型企画旅行契約)によります。この旅行は2026年5月1日現在を基準としています。

■旅行契約の解除
参加者が最少催行人数に達しなかった場合は、旅行を中止することがあります。この場合は出発の23日前迄にお知らせします。
<取消料>
お客様都合で旅行を取消す場合は、下記の取消料をお支払いいただきます。

契約の解除期日	取消料
旅行開始日前日から起算して遡って30日前以降	旅行費用の20%
旅行開始日前々日以降	旅行費用の50%
旅行開始後の解除又は無連絡不参加	旅行費用の100%

ご旅行要項

- 旅行代金に含まれるもの
- ①企画手配料金および手配料金
 - ②交通費: 旅程に明示した航空運賃、旅程に明示した専用車料金
 - ③宿泊費: 旅程表記載のホテル又は同等クラスのホテル(弊社基準)の基本宿泊料および税、サービス料(基本2名一室)
 - ④食事代: 旅程表明示
 - ⑤見学施設の入場料
 - ⑥現地ガイド費用
 - ⑦添乗員同行費用
- 旅行代金に含まれないもの
- ①旅程表以外に行動される場合の交通費、宿泊料、飲食費等
 - ②個人的費用: 旅程表に明記されていないものの費用・食事の時の飲み物代・自由行動時の諸費用等
 - ③航空会社が課す日本港施設使用料・国際観光税・海外空港税・燃油特別付加運賃(30,000円) 2026年5月現在※航空券の発券時点でレートは変動します。その場合は差額を徴収もしくは返金いたします。
 - ⑥お一人部屋料金: 39,000円
 - ⑦日本国内の交通費、前泊の費用
 - ⑧海外旅行傷害保険料

●この旅行に関するお問合せ・お申込みは下記まで
〒231-0062 神奈川県横浜市中区桜木町1-1-7
ヒューリックみなとみらい11F-4
総合旅行業務取扱管理者: 西須 輝理

営業時間: 月～金曜日 / AM10:00～PM6:00
(休業日: 土日・祝日)
ホームページ: <http://www.fits-tyo.com/>

旅行企画・実施 観光庁長官登録旅行業第84号 JATA正会員

株式会社 富士国際旅行社


TEL: 045-212-2101 FAX: 045-212-2201
fuji@fits-tyo.com 担当: 西須・山田・川村・小島

お申込方法

- ①【紙で仮予約の場合】下記の予約票にご記入いただき、富士国際旅行社宛に郵送またはFAXでお送りください。予約票が届き次第、旅行社より取引条件説明書面とお申込書を他の必要書類とともにお送りいたします。
- ②【ウェブで仮予約の場合】下記QRコードにアクセスし、仮予約フォームを送信下さい。
- ③弊社よりお送りするご案内書面に記載の銀行またはゆうちょ銀行に、**申込金50,000円**(旅行代金内金) をご送金ください。(申込書と申込金の両方の到着をもって正式申込)

株式会社 富士国際旅行社 宛

参加予約票 高雄・嘉義・台南 台湾南部をたどる近代史の旅 ご希望の出発日に○をお付けください→【7月8日(水)発・9月1日(火)発】

パスポート ローマ字表記	性別	生年月日	年 月 日 () 歳	ウェブ仮予約はこちらから↓
氏名	男・女	パスポート	有効旅券(パスポート)【有・無】 パスポート番号: 有効期限: 年 月 日	
住所	(〒 -)			
連絡先	【tel】 () -	【fax】 () -		
	【携帯】 -			
	【e-mail】			

高雄・嘉義 台南

台湾南部をたどる近代史の旅

5日間



旅行期間

① 7月8日(水)～7月12日(日)

② 9月1日(火)～9月5日(土)

旅行代金

275,000円 ※費用の他に航空便費用に付随する海外空港税・航空保険料等・成田空港施設使用料・保安料30,000円がかかります。発券時のレートにより変動いたします。差額は返金・又は集金させていただきます。

(成田発着)

定員

30名様 (最低実施人員10名) ※関西空港発着ご希望の場合、航空便に空席があれば可能です。空席・ご料金は旅行社へお問い合わせください。

申込締切

①6月8日(月)②8月3日(月) **添乗員 成田空港から同行します。**

※締切日以降も航空便やホテルに空席があればご参加いただけます。ただし空席状況によりご料金が変わる場合がございます。お問い合わせください。

CHECK POINT

- 高雄 4 連泊でゆったり台湾南部の都市を見学
- 「牡丹社事件」の史跡を訪れ、「琉球処分」から日清戦争へと繋がる歴史を学びます

※写真は全てイメージです

旅行企画・実施

Peace Green Humanity
(株) 富士国際旅行社

観光庁長官登録旅行業第84号・JATA正会員

高雄・嘉義・台南 台湾南部をたどる近代史の旅 旅程表

日付	都市	交通機関	行程・宿泊地・食事（朝・昼・夕）
①	成田空港発 高雄空港着 関西空港発 高雄空港着	航空便 航空便 専用車	<成田空港発:添乗員1名同行> 集合予定時刻:午前10時00分頃 空路✈️高雄空港へ【時差:日本側が1時間進む/所要4時間00分】 <関西空港発> 集合予定時刻:午前10時00分頃予定 空路✈️高雄空港へ【時差:日本側が1時間進む/所要3時間20分】 着後、専用車で高雄市内へ *寿山講演展望台 ★夕食レストランにて参加者交流会 ホテル着、チェックイン
	ホテル着		高雄泊 朝×昼機夕○
②	ホテル発 牡丹社	専用車	陸路、牡丹社へ <「牡丹社事件」関連史跡見学> *大日本琉球藩民五四名墓 *牡丹社石門古戦場 *牡丹社事件物語館
	高雄着		陸路、高雄へ戻る *左営蓮池潭 高雄泊 朝○昼○夕○
③	ホテル発 嘉義	専用車	陸路、嘉義市へ <嘉義市内見学> *映画「KANO」関連史跡 *八田與一記念園区 *烏山頭ダム *故宮博物館南院
	高雄着		高雄泊 朝○昼○夕○
④	ホテル発 台南	専用車	陸路、台南市へ <台南市内見学> *赤崁楼 *安平古堡 *王育徳記念館
	高雄着		高雄泊 朝○昼○夕○
⑤	高雄市内	専用車	*高雄立歴史博物館
	高雄空港発 成田/関西空港着	航空便	高雄空港到着後 航空会社チェックイン 空路✈️帰国の途へ 成田空港:17:35頃着予定 関西空港:19:30頃着予定 朝○昼機夕×

- 手配上・現地のご都合により、訪問日時や順序が入れ替わる場合がございます。
- 旅程表のマーク:○=食事付き、X=自由食、機=機内食 弁=お弁当 ●機内食は、航空運賃に含まれる航空会社が提供するサービスです。有料またはサービスが無くなった場合は各自でお取りいただきます
- 利用航空会社:エバー航空、チャイナエアラインなど ●宿泊予定ホテル(基本2名1室)下記ホテル又は同等クラスのホテル(弊社基準):高雄=シティスイツ、ハワードプラザ、ハンシェンインターナショナル

台湾基本情報

面積:3万6197km² 人口:約2323万3千人(世界年鑑2023) 言葉:中国語
 時差:日本より-1時間 電圧:110ボルト(V)、60Hz ※プラグの差込口は日本と同じ 通貨:ニュータイワンドル
 気候:南北に細長い台湾本島は、中央を通る北回路帰線を挟み、北が亜熱帯気候、南は熱帯気候に分けられる。
 台湾は、1年中温暖で、明確な四季はなく、長い夏と短い冬がある。

台湾味の魅力

台湾料理とは、台湾で食べられる中華料理のうち、主に福建料理をベースとして、台湾で発展した郷土料理です。「食は台湾にあり」といわれるほど、台湾には美味しいグルメが充実しています。定番は小籠包や魯肉飯(ルーローハン)、台湾スイーツや屋台グルメも観光客に人気です。はじめてでも気軽に入れるお店が多く、日本語メニューを用意しているお店もあります。



旅のポイント・見学先



牡丹社事件 ~日本・台湾・琉球の関わり~

琉球王国は江戸時代には日本(薩摩藩)と中国大陸の清の間で両属関係にあり、日本で明治政府が成立すると、帰属をめぐる政治問題が起きました。1871年、宮古島から首里へ年貢を輸送し、帰途について琉球御用船が台風による暴風で遭難。台湾南端東海岸に漂着した66名のうち、54名がパイワン族に殺害されました。12名は土地の有力者に助けられ、翌年福建省をへて生還しました。明治政府は清国に対して事件の賠償などを求めましたが、清国政府は管轄外として拒否したため、1874年5月17日、明治政府が陸軍中將西郷従道の指揮下、約3,600人の日本軍を台湾に出兵し、台湾南部を攻略しました(牡丹社事件)。



台湾出兵は琉球王国を「琉球藩」として日本に帰属させそのことを内外に明確にするために行われ、その後の日本の軍事膨張政策の第一歩となりました。近代日本にとって初の正規軍による外征です。

●台南市

台南は、台湾最古の都市として知られ、歴史的建造物が多く残る街です。代表的な観光地には、オランダ統治時代に建てられた赤崁楼や、同じくオランダの拠点であった安平古堡があります。また、日本統治時代に活躍した思想家を紹介する王育徳記念館もあり、台南では時代ごとの歴史や文化の流れを感じることができます。



八田與一と嘉義市

●嘉義市

台湾南部の中核都市のひとつ。人口は約27万人。台湾の支配権がオランダ-鄭成功政権-清-日本と移る中、漢人と現地人(ホアニア族)の混住する嘉南地方の町として徐々に発展してきました。日本統治下の1906年に大地震に襲われ、旧市街が壊滅したことで台湾総督府が復興計画を指導し、近代的な都市に変わりました。

●八田與一

八田 與一(1886-1942)
 台湾総督府の技師として台湾南部、嘉南平野の灌漑事業に携わりました。事業が台湾総督府の手を離れると、総督府を辞めて事業組合付の技師に転職し、設計建設指導を続けました。1942年にフィリピンへ灌漑政策の指導に向かう途中、米潜水艦の攻撃で殉職。その事績と人柄は今なお高い評価を受けています。



●嘉南大圳

嘉南大圳(かなんたいしゅう)は日本統治時代に台湾南部の嘉南平野に建設された巨大水利施設です。中核となる烏山頭ダムと、そこから配水される水路を建設し、旱魃が相次いだ15万haに及ぶ畑が水田に変わりました。地域の生産向上はあくまで「植民地」の収益が上がれば本国(日本)の富も増す体制の下で行われた「収奪のための事業」だった側面も持っています。嘉南大圳というのはダムとダム湖(珊瑚潭)および総延長1万6000キロに及ぶ水路の総称です。

映画「KANO」と嘉義農林学校

台湾中部の嘉義市に日本が開設した「公立嘉義農林学校」。当時日本人しかチームに入れないことが普通だった野球部に原住民族や漢人も加えて快進撃を続け、1931年の甲子園では初出場にして準優勝をはたす快挙を成し遂げました。植民地支配の下でスポーツを通じて民族の融和が進んでいく様子を描いた映画が『KANO~海の向こうの甲子園』(2014年・台湾)です。“嘉農”こと嘉義農林学校は現在国立嘉義大学農学部となっています。

